

常微分方程式の定性的理論とその現象解析への応用

京都大学数理解析研究所の共同研究事業の一つとして、下記のように研究集会を催します。ご案内申し上げます。

研究代表者 松永 秀章 (大阪公立大学)

副代表者 鬼塚 政一 (岡山理科大学)

記

日時: 2022年11月14日(月) 13:40 – 11月16日(水) 12:00

場所: 京都大学 数理解析研究所 1階 111号室

京都市左京区北白川追分町 (市バス 農学部前 または 北白川下車)

11月14日(月)

13:40–14:25 長谷川 翔一 (早稲田大学)

Separation structure of radial solutions to semilinear elliptic equations on non-compact Riemannian manifolds

14:40–15:25 宮本 安人 (東京大学)

Exact Morse index of radial solutions for semilinear elliptic equations with critical exponent on annuli

15:40–16:25 竹内 慎吾 (芝浦工業大学)

一般化シンク関数とノルムの漸近展開

11月15日(火)

10:00–10:45 宮武 勇登 (大阪大学)

微分方程式の離散化に関する不確実性定量化の近年の動向

11:00–11:45 松家 敬介 (武蔵野大学)

反応拡散系の超離散化可能な離散化とその Turing 不安定性について

13:40–14:25 久藤 衡介 (早稲田大学)

拡散ロジスティック方程式の定常解の最適棲息分布

14:40–15:25 鬼塚 政一 (岡山理科大学)

Ulam type stability for ordinary differential equations and its applications

15:40–16:25 杉江 実郎 (島根大学)

時間変動する係数をもつ非線形振動子の一樣大域的漸近安定性

11月16日(水)

10:00–10:45 宮路 智行 (京都大学)

力学系に対する相空間全構造計算の手法と応用

11:00–11:45 渡辺 宏太郎 (防衛大学校)

3次元球面上の円環領域におけるスカラーフィールド方程式の正值球対称解の一意性および多重存在性について